

わかる 国際会計基準

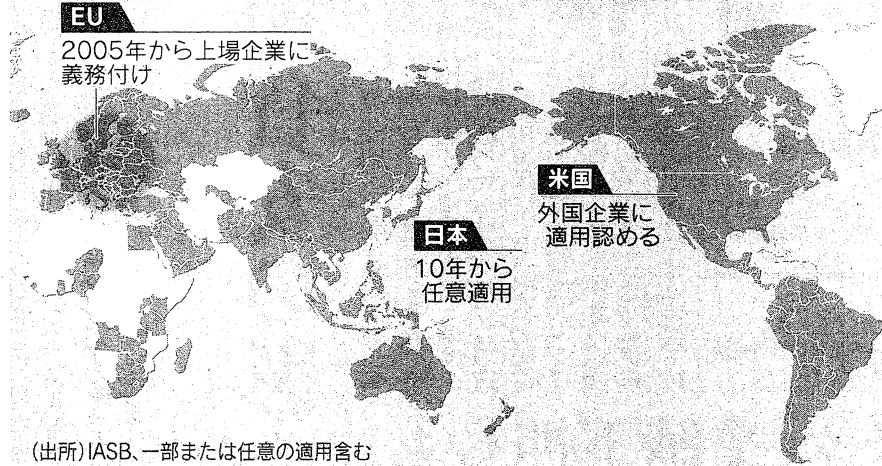
①

国際会計基準（IFRS）を使って決算を発表する企業が増えてきた。日立製作所など主力企業に続き、協和発酵キリンやクレハ、オートバックスセブンが適用の準備に入った。導入済みと検討中の企業をあわせると150社近くに達する。採用が増える背景には、日本企業の海外展開とM&A（合併・買収）の拡大が影響している。

IFRSは「イファース」や「アイファース」、「アイエフアールエス」とも読む。2015年3月期の有価証券報告書からホンダや、グループの上場子会社9社を含む日立製作所がIFRSで開示を始めた。東証1部の時価総額上位100位の

日立など採用150社へ

IFRSを使っている約130の国・地域



(出所)IASB、一部または任意の適用含む

海外展開やM&A円滑に

うち、ソフトバンクグループや日本たばこ産業（JT）など既に21社が、アジア、アフリカなど世界各地に日本企業の手続きを円滑に進めるも2割を占める。

採用のピッチが速まっている背景には欧州、米海外企業との資本提携や合併会社の設立といった手続きを円滑に進めるには、決算書を作る「モ

主力企業から内需関連に広がる

「ノサシ」である会計基準が1つであった方が効率が良い。14年3月期からIFRSに切り替えたりも、コーの瀬川大介常務執行役員は「国ごとに異なる費用の計上方法が統一され、管理しやすい」と話す。

業績回復を機にM&Aも活発になってきた。最近製造業から外食、小売りなど内需企業にも使いはじめられる企業が増えている。

IFRSのルールを定めているのは、ロンドン本部を置く国際会計基準審議会（IASB）だ。05年に欧州連合（EU）が域内の上場企業に適用を義務付け、オーストラリアや韓国など約100カ国以上に広がった。

日本企業が任意で使えるようになったのは10年からだ。日本のように一部または任意で認められている国・地域を含むと、約130カ国に広がる。

日立やリコーなどそれぞれで米国会計基準を使っていた主要企業にとって

は、米国が米市場に上場する外国企業にIFRSでの開示を認めたこと、基準の切り替えに動く一因となった。

会計基準を変えると、同じ企業の決算数値が見かけ上、増えたり減ったりすることがある。ホンダがIFRSで発表した15年3月期連結決算の税引き前利益は8062億円。米国会計基準（6448億円、有価証券報告書ベース）の数値より1614億円増えた。開発費の計上方法がそれぞれ異なるためだ。

米国会計基準では開発費を費用としてとらえ、損益計算書に反映させるが、IFRSでは開発費の一部は会社の「資産」としてとらえて貸借対照表に計上する。見かけ上の利益が動いても、企業の実態は変わらない点には注意する必要がある。

◇ 上場企業で広がるIFRS。決算書を正しく読み解くために、主な特徴を全5回で点検する。